

Very Best ベリーベスト

Venus Records Piano Trio Best Performances

Great New Record! ヒートノット・ヒートノット・ヒートノット・ヒートノット

1. ♪ 音楽がある限り。デニー・ザイロン・トオ
As Long As There's Music (J. Styne) (5:11)

2. ♪ アゲイン。エディ・ヒンズ・トオ
Again (L. Newman) (3:15)

3. ♪ ナードス。リッチー・バークラウ・トオ
Nardis (M. Davis) (7:20)

4. ♪ 愛心は。スタンレー・キューン・トオ
Ten Palabras (Without You) (G. Fares) (9:45)

5. ♪ タイム・アフター・タイム。ビル・チャーラップ・トオ
After Time (J. Styne) (6:34)

6. ♪ オレ・テキサス。スタンリー・カウエル・トオ
Ole Texas (American Folk Song / Trad.) (8:21)

7. ♪ リード・ボサ・ノバ。ハロルド・メイバーン・トオ
Recato Bossa Nova (D. Ferreira) (3:30)

8. ♪ 熱いブルース。ニール・ヤロウ・トオ
Blues In The Night (Ch. Adam) (7:28)

9. ♪ 危険な関係のブルース。スティーブ・キューン・トオ
No Problem (D. Jordan) (7:29)

10. ♪ アフターヌイト・イン・パリ。サー・ロラン・バリエ・トオ
Afternoon In Paris (J. Lewis) (6:38)

11. ♪ ストレン・モーメント・イン・イスラエル。エディ・ヒンズ・トオ
Stolen Moments (Israel) (E. Nelson / J. Carisi) (7:23)

4

Produced by Tetsuo Hara.

Front Cover: ©Cowell Corp / Magnum Photos Tokyo / Amama Images.

Designed by Tat.

AS LONG AS THERE'S MUSIC /

YENNY ZEITLIN

DEAN ANDERSON / デニー・ザイロン

デニー・ザイロンは、ジャズ・ピアニストと精神科医という二つのらむ

職業を兼ねた稀有な存在で、彼の音楽はつねに高い評価を受けている。ヴィナス

レコード・アルバム『音楽がある限り』も好評を得た。タイトル曲は、ミュージ

カル・ジャズ『歌あふれる島』(Step Lively)のために作られたスタンレー・キューン

によるもので、鮮やかな演奏が聴かされている。

AGAIN / EDDIE HIGGINZ

AGAIN / EDDIE HIGGINZ

ペララ・ヒンズ・トオ。エディ・ヒンズのヴィナスデビュー。ジャズ界

では異色といえる独特のピットサウンドに聴かれている。本来アメリカであり日本の

聴衆がスルフィー・ジャズ・ミュージシャンが好むような、エキセントリック

の響れもさきを評したため、日本人だけだったわけ、これはヴィナスが先

駆『アゲイン』に収録されたタイトル・ソング、ヒンズのデビュー

アルバム『ニードス』でも作風はスタンダード・ソング、ヒンズのデビュー

アルバム『ナードス』に収録されたタイトル・ソング、ヒンズのデビュー

アルバム『リッチー・バークラウ』

リッチー・バークラウは、革新的な演奏力と想像力豊かな演奏力を持つ

たジャズ・ピアノの第一人者。スタンダード・ナンバーの傑作も数多いが、この

新録は、もっと評価されたいと思える。このアルバム『愛心は』と何ぞ

しや?と反響させたヴィナス・ライブ作曲のジャズ・スタンダード、バリエ

・トオが提供する。ビル・チャーラップ、傑作『パート・トゥー』にた。バークラウ

の録音は、ここで聴くのがいい。

TEN PALABRAS (WITHOUT YOU) /

STEVIE KUHN

キューンでは/ステイブ・キューン

1960年代後半から1970年代前半にかけてのジャズ・ピアノ界を切り開いた。

これはキューン演奏のスタンダード・ナンバーととりまけられたアルバム『キエ

ル・ムーヴ』の収録。『キエ・キエ・キエ』の音響もかなり

タイム・フレイの代名詞。

TIME AFTER THE TIME / BILL CHARLAP

タイム・アフター・タイム/ビル・チャーラップ

フィル・ウッズ。ウインドシティピニストとしてイギリスの音楽界

にも加わっていたビル・チャーラップは、ヴィナスレコード・アルバム『

ス・ウインド』のなかから、日本人でも人気が高まり始めた。その中でも

傑作はジョー・スタンレー作曲の曲。スタンダード・ソング・ジャンルの

チャーラップの『愛心』は、最新期にも貴重なアイデアをかき集。ここ

でも曲意がのちのちにある。

OLE TEXAS / STANLEY COWELL

オレ・テキサス/スタンリー・カウエル

1970年代に同様に流行したチャー・イートン・レールに似ている響れは

じつ、ジャズのなかからより多く存在のピットサウンドが、スタンリー・カウエル

の80年代に入ってから、マイペースの聴きどころに広がっている。これ

もジャズ・ピアノ界を築き上げたアルバム『オレ・テキサス』の収録

。アメリカのトビ・ジョー・スタンレー・ソングだ。誰でも一度は耳にしたこと

RECORDO BOSSA NOVA /

HAROLD MAYERBERN

ハロルド・メイバーン

ハロルド・メイバーン作曲の傑作は活気にあふれた。ハロルド・メイバーン、

ペララに仕上がった。ハロルド・メイバーンが、このアルバム『熱い

関係のブルース』に収録されたスタンダード・ナンバー。ハロルド・メイバーン

が作曲した傑作は活気にあふれた。ジャズ・スタンレーの『アゲイン』に

た。リッチー・バークラウの『リッチー・バークラウ』に収録された

スタンダード・ソング、ヒンズのデビュー

アルバム『ナードス』に収録されたタイトル・ソング、ヒンズのデビュー

アルバム『リッチー・バークラウ』

リッチー・バークラウは、革新的な演奏力と想像力豊かな演奏力を持つ

たジャズ・ピアノの第一人者。スタンダード・ナンバーの傑作も数多いが、

この新録は、もっと評価されたいと思える。このアルバム『愛心は』と

何ぞしや?と反響させたヴィナス・ライブ作曲のジャズ・スタンダード、

バリエ・トオが提供する。ビル・チャーラップ、傑作『パート・トゥー』

にた。バークラウの録音は、ここで聴くのがいい。

TEN PALABRAS (WITHOUT YOU) /

STEVIE KUHN

キューンでは/ステイブ・キューン

1960年代後半から1970年代前半にかけてのジャズ・ピアノ界を切り開いた。

ヴィナスレコードでは1962年10月に傑作プロデュースによって録音された

ジャズ専門レベルである。原簿表はそれぞれでRCAレコードやリアル

レコードプロデュースとして活発に活動してきたが、自らもレベルへ録音した

わけがその音楽を聞きとるべく、ミュージシャンのレーベルへ録音して

て制作したヴァン・サンダースの新作『熱い関係のブルース』第1集として

制作し、レベールをスタートさせた。

その後のヴィナスレコードはエディ・ヒンズ、スタンレー・キューン、

デニー・ザイロン、リッチー・バークラウ、ペララ・カウエル、ロランド

・ハナ、ハロルド・メイバーン、ビル・チャーラップと傑作ピニストた

ちりつとアルバムや、パレ・ニュー・イン・アース・シェップ、フル・

ウッズ、エンジョ・カバといった作曲家・プレイヤーの傑作を録音しな

り、アーティストの個性をうまく引出し出したその制作は、傑作のたに

の心を捉えてレベルとしての知名度を高めていった。その中でも、ビ

・トオ・シリーズは今も日本のビ・トオ・ブームの立役者としての役割

を果たし、またシェップの『フレンチ・パルクス』はジャズ界に大きな

変革・転機をもたらした。いまやヴィナスレコードはジャズ界における

人気がトップとしての地位を確立するに至っている。

ヴィナスレコードの傑作がこればかりにはとて維持されるのは、プロデュ

サー自身が自らも立ち回って制作するジャズ日本のジャズ・ファン

とマツタのたためり、互いに共賞する喜びがあるからだろう。一方、

ファンのおうとうとの大衆の要として、ハイパー・マガジン・サウン

とその他の再発盤が挙げられる。これはこの録音方法の異なるビ

・トオ・シリーズは、ある意味でジャズ・ファン・マガジンのブルーノ・

・トオに匹敵するものといえる。

このヴィナスレコードの100枚を超え入るカタログ(2002年現在)から、

ビ・トオよりよき種々の傑作をピックアップしたのが実現でき、

これにヴィナスレコード・ファン・マガジンの2002年9月号の特集盤『リ

ックアップ』がヴィナス音楽名典 Best10、を収録されたものとなっている。参考

までビ・トオ・トオの収録盤の15枚までを下記に紹介しよう(『』は収録

アルバム、同題は同題)。

第1位 音楽がある限り/デニー・ザイロン『音楽がある限り』

第2位 アゲイン/エディ・ヒンズ『アゲイン』

第3位 ナードス/リッチー・バークラウ『愛心は行くせり』

第4位 愛心は/スタンレー・キューン『オレ・テキサス』

第5位 タイム・アフター・タイム/ビル・チャーラップ・トオ『フレンチ・

パルクス』

第6位 オレ・テキサス/スタンレー・カウエル『オレ・テキサス』

第7位 リード・ボサ・ノバ/ハロルド・メイバーン『キエ・キエ・キエ』

第8位 熱いブルース/ニール・ヤロウ『熱いブルース』

第9位 危険な関係のブルース/スティーブ・キューン『危険な関係』

第10位 アフターヌイト・イン・パリ/サー・ロランド・ハナ『ヒナノ、

パリ、ニューヨーク』

第11位 ストレン・モーメント・イン・イスラエル/エディ・ヒンズ『

奪った瞬間』

第12位 ナードス/リッチー・バークラウ『リッチー・バークラウ』

第13位 ナードス/リッチー・バークラウ『リッチー・バークラウ』

第14位 ラウンド・ミッドナイト/ビル・チャーラップ『愛心は行くせり』

第15位 ハナム・ブルース/両角真樹『ヒンズ・トオ』

本CDは収録盤の録音のヴィナスの録音に収録されている。これ

らのエッセイは録音盤の解説とヴィナスの歴史(1)を収録している。これ

(高橋直也)